

事務所長からのメッセージ

【皆さん、こんにちは。いつもこのサイトをご覧いただき、ありがとうございます。私どもでは、道北地域の金融や経済に関する最新の情報発信に努めております。ご意見やご要望をお寄せください。このページ右下のアドレスにアクセスしてください。】

- 11月10日に公表しました「[金融経済概況（道北地区）](#)」では、道北地域の景気の基調判断を先月と同様「やや厳しい状況にある」との表現に据え置きました。先月、それまでの「弱めの動き」から「やや厳しい状況にある」に下方修正しましたので、この表現は2カ月連続となります。
- この1カ月の間に景況判断を更に変えるほどの大きな変化は窺われませんでした。今月公表した多くの計数が9月のものであるだけにマインド面での微妙な変化が気になります。サブプライム・ローン問題に端を発した米欧の金融危機がわが国にも波及し、株価や為替相場の乱高下を生んでいます。これを受けて、当地においても消費や投資面でやや慎重さが増してきているように思います。また、景気回復時期についてもやや後ずれするとの観測が広がり、売上や収益計画の変更を余儀なくされている企業が増えています。12月には、また短観結果を公表しますので、こうした点も含めて注意深くみていきたいと思えます。
- 11月2日(日)、日本FP協会道北支部が主催する「FPフォーラムin旭川」に参加し、パネル展示やミニレクチャーを行いました（その模様は[こちら](#)をご覧ください）。私からは、金融教育の重要性と必要性についてお話ししました。事務所長による経済エッセイ第4弾として取りまとめた資料（「[金融教育について考える](#)」）を配布・解説しましたので、是非ご一読ください。

平成 20 年 11 月 10 日
尾家 啓之